

7. 老後の住まい方

(1) 子世帯との現在の住まい方

全県

高齢世帯(家計を主に支えるものが65歳以上の世帯)のうち、別世帯となっている子との現在の住まい方は、「同一市区町村外に住んでいる」が41.8%、次いで「同一市区町村内に住んでいる」が20.1%と多く、「同居している(二世帯住宅を含む)」世帯は6.0%である。子との同居率は、平成10年調査(10.9%)と比較すると4.9ポイント減少しているが、将来の子との住まい方では「子と同居する(二世帯住宅を含む)」という意向が全世帯でも13.4%あることから、今後現状よりも同居が増える可能性がある。

また、「同一敷地内または同一住棟の別の住宅に住んでいる」、又は「すぐ近く(歩いて10分以内)に住んでいる」と答えた世帯(近居)は11.9%である。平成10年調査では15.4%であり、3.5ポイント減少した。

(図 - 24)

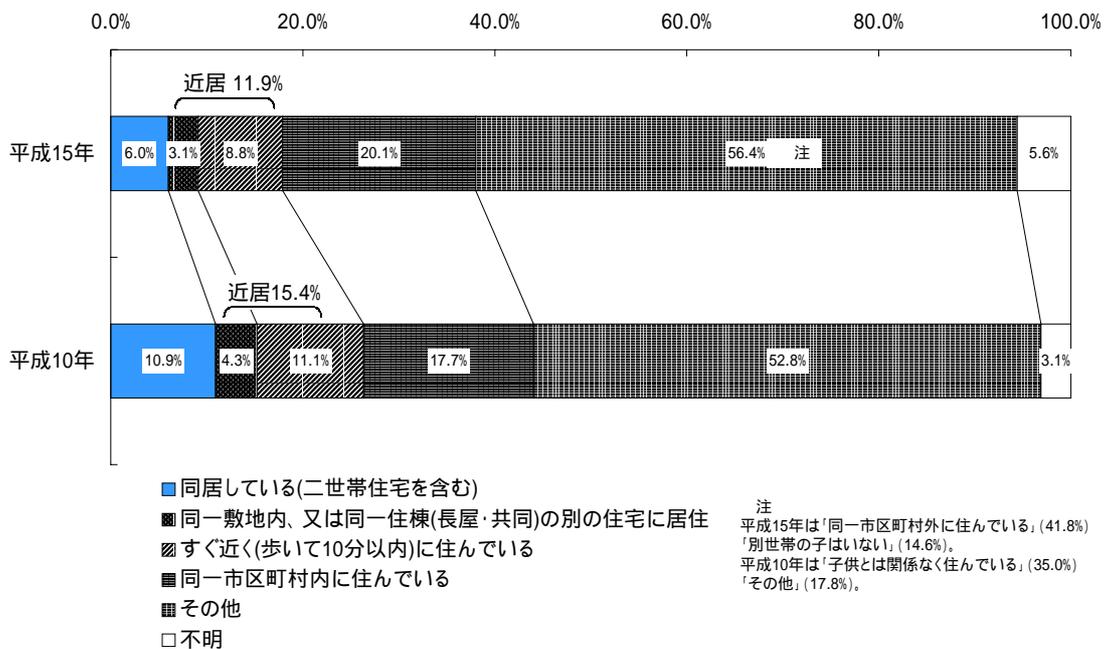


図 - 24 別世帯の子との住まい方〔世帯主が65歳以上の世帯〕〔山口県全体〕

圏域別、住宅タイプ別

別世帯となっている子と「同居している(二世帯住宅を含む)」割合は、全世帯で6.2%、高齢世帯についてみると6.0%である。圏域別にみると、柳井地域で9.7%と同居率が高い。

住宅タイプ別にみると、「民営賃貸住宅(共同住宅・木造)」で8.9%と最も同居率が高い。

(表 - 58) (表 - 59)

(2) 高齢期の子との住まい方の意向

全県、推移

高齢期の子どもの住まい方については、「特にこだわりはない」世帯が33.4%と最も多く、次いで、「子と同居する(二世帯住宅を含む)」が13.4%、「子のすぐ近く(歩いて10分以内)に住む」が12.0%である。「子と同一敷地内又は同一住棟(長屋建住宅・共同住宅)の別の住宅に住む」は6.1%で、「子のすぐ近くに住む」と合わせた近居希望は18.1%となっている。

平成10年調査では、同居希望は14.6%、近居希望は17.8%であることから、それぞれ1.2ポイントの減少、0.3ポイントの増加となっている。

(図 - 25)

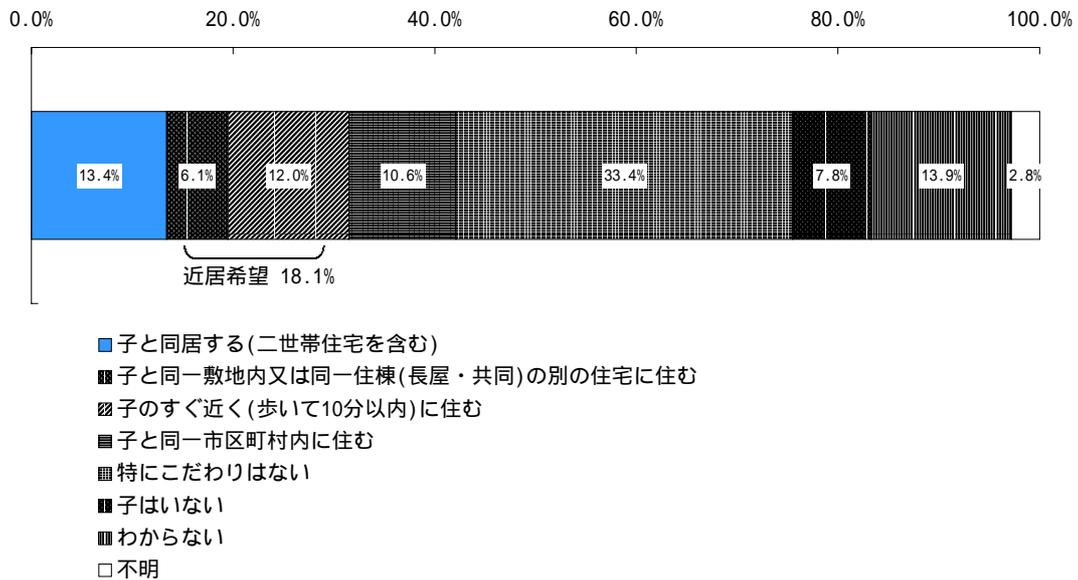


図 - 25 高齢期における子との住まい方に関する意向〔山口県全体〕

圏域別

圏域別にみると柳井地域、萩地域、長門地域では「子と同居する」を希望する世帯の割合が他の地域と比較して高い。これに対して、下関地域、周南地域では「子と同居する」、「子と同一敷地内または同一住棟の別の住宅に住む」を希望する割合は低くなっている。

(図 - 26) (表 - 60)

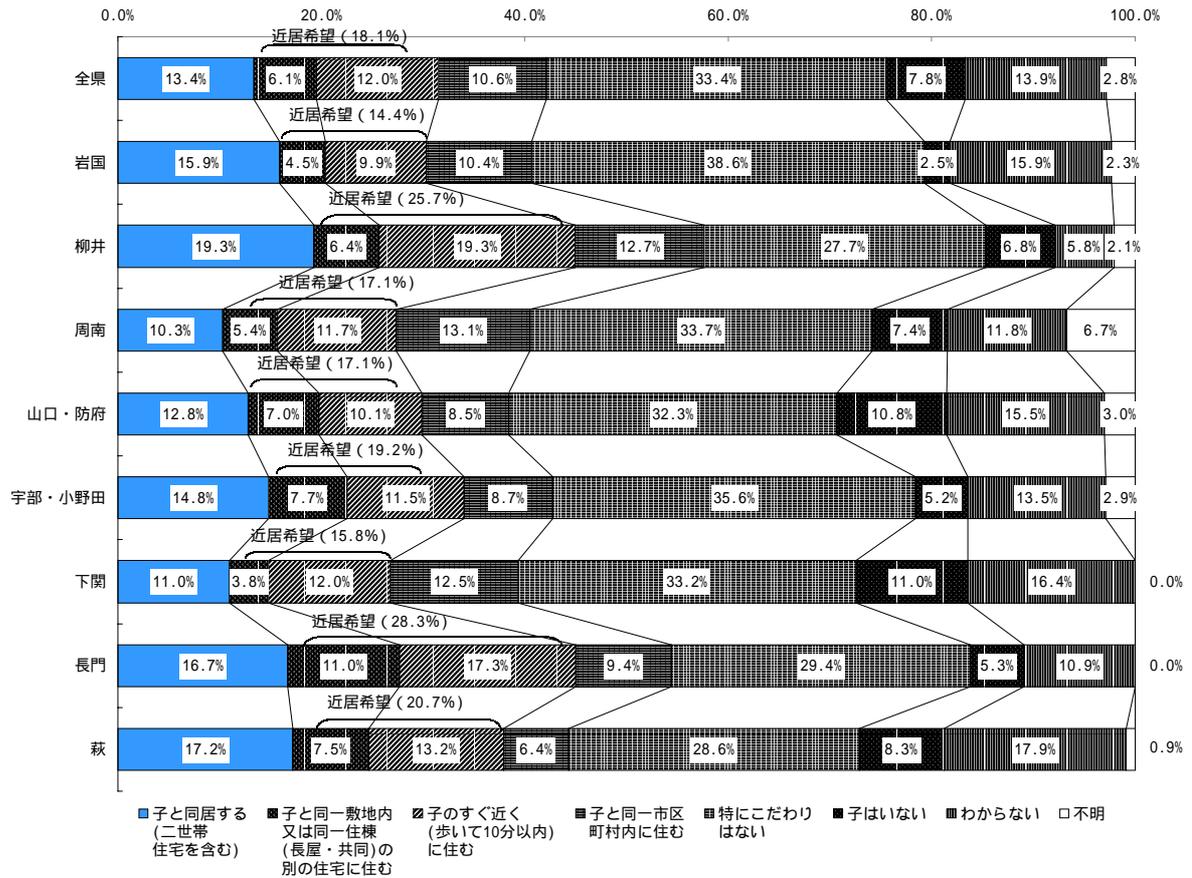


図 - 26 圏域別、高齢期における子との住まい方に関する意向〔山口県〕

住宅のタイプ別

持・借別にみると、「子と同居」や子との近居を希望する世帯の割合は持家で高くなっている。ただし、借家世帯の約6割を占める「民営賃貸住宅」では、「子はいない」、「わからない」とする回答が多いことから、高齢期の住まい方についてまだ明確なイメージを持っていない世帯が多いことがうかがえる。

(図 - 27) (表 - 61)

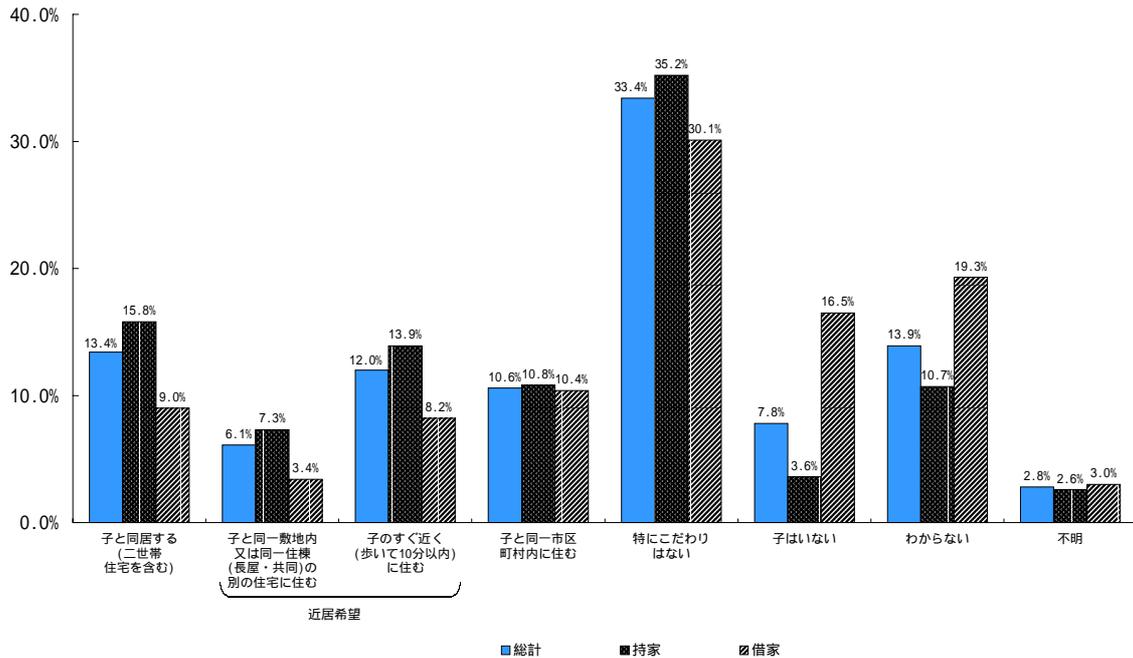


図 - 27 持家・借家別、高齢期における子との住まい方に関する意向〔山口県〕

家族型別

家族型別にみると、「子と同居する」を希望する割合は、「三世帯世帯」、「複合世帯」、「単身(75歳以上)」の世帯で高くなっている。これに対して、「親と子」や「夫婦のみ」の世帯では、「特にこだわりはない」という考え方が多い。

(表 - 62)

(3) 高齢期の居住形態等の意向

全県、圏域別

高齢期に備えた住み替え・改善の意向については、「特に考えていない」という世帯の割合が75.4%と最も高い。次いで、「住宅の建て替えやリフォーム等して住み続ける」が14.1%、「住宅を購入する・借りる、施設に入る等して住み替える」が6.6%の順になっている。

圏域別にみると、萩地域では「住宅の建て替えやリフォーム等して住み続ける」が24.6%とやや多くなっている。

また、住み替え後の居住形態としては、「持家(一戸建)」、「サービス付の高齢者向け住宅」が多い。

(表 - 63)

住宅タイプ別

持・借別にみると、借家では、持家よりも「住宅を購入する・借りる、施設に入る等して住み替える」とする割合が高くなっている。また、持家の中では、「一戸建・長屋建」で「住宅の建て替えやリフォーム等して住み続ける」とする意向が強い。

(表 - 64)

家族型別

家族型別にみると、「単身(35歳～64歳)」では、「住宅を購入する・借りる、施設に入る等して住み替える」が多くなっている。住み替え後の居住形態としては、「単身(35歳～64歳)」、「単身(65歳～74歳)」では「サービス付の高齢者住宅」が最も多く、「単身(75歳以上)」、「夫婦のみ(家計を主に支えるものが65歳以上)」、「親と子(長子6歳～11歳)」では「有料老人ホーム」が最も多い。

(表 - 65)